

菅 義偉内閣官房長官殿

平成29年4月7日

村田光平

(元駐スイス大使)

拝啓

福島第一2号機問題で警告を発している竹本修三京大名誉教授はこの程関係
方面の知見も取り入れた下記所見を発表しましたのでご報告致します。

<http://www.eonet.ne.jp/~takemoto-home/17apr04.pdf>

各方面の有力な専門家の意見も取り入れた労作です。現場で震度7の地震が
発生すれば2号機の建屋は崩壊し、東京も住めなくなるとの指摘が見られます。
中途半端な形で保持されている核燃料デブリが格納容器の底に溜まった水中に
急速に落下したらどうなるか早急に検討を要すると訴えております。同問題へ
の対応は我が国にとり最優先課題といえます。

国際社会も動き出した感があります。去る3月25日、中国の若者に人気の
あるネットのサイトである April Media の Rao Jin 記者が来日しインタービ
ューを受けましたが、2号機問題に言及したところ、翌々日には急遽京都に赴
き竹本先生のインタビューを行うという熱の入れようでした。

Rao Jin 記者のインタビューを受けた際、通訳を務めた朝日新聞
Withnews 編集部の章蓉記者(中国人)による下記記事が4月6日公表されまし
た。これまでの私の経歴に関して身に余る評価を頂いておりますが、福島によ
る地球環境悪化を懸念する国際社会の支援を象徴する記事であると受け止めて
おります。

<http://withnews.jp/article/f0170406000qq0000000000000000W02310701qq000014960A>

貴官房長官の格段のご指導とご尽力をお願い申し上げます。

敬具

世耕弘成経済産業大臣殿

平成29年4月10日
村田光平
(元駐スイス大使)

拝啓

菅官房長官宛メッセージをお届け致します。

竹本修三先生の2号機問題に関する報告書の最終版とご報告した朝日 **Withnews** のインタビュー記事をお届けするものです。再稼働の動きが報じられる一方、マスコミは取り上げませんが4月1日に広島大学で「日本の歩むべき道」と題する小泉元総理の講演会が開催され、出席者は1000名を上回ったと聞きます。

福島事故の教訓を全く無視する再稼働は頓挫するものと信じます。自主避難者に対する支援打ち切りという無責任を国民は放置しないと思われます。

ご理解とご支援をお願い申し上げます。

村田光平
(元駐スイス大使)